

悪魔のロマンス

横坂 源 チェロ・リサイタル
Gen Yokosaka Cello Recital
Romance Del Diablo

PROGRAM

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第4番
ハ長調 op.102-1

R.シュトラウス：チェロ・ソナタ ハ長調 op.6

サン＝サーンス：白鳥

ピアノ：悪魔のロマンス

ピアノ：鯨

ピアノ：リベルタンゴ

ピアノ：ル・グラン・タンゴ

順不同

〔ピアノ〕萩原麻未

※当初予定の沼沢渥美より萩原麻未に変更になりました。

2024 2/3 (土) 19:00 開演 (18:15 開場)
全席指定 4,400円 (税込)

プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 54263]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 244-930]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。

悪魔のロマンス

横坂 源 チェロ・リサイタル
Gen Yokosaka Cello Recital
Romance Del Diablo

横坂源は、日本のチェロ界を担う逸材。10代半ばで小澤征爾と同じ舞台に立ち、2010年のミュンヘン国際音楽コンクールで第2位を受賞。彼の演奏はスケールが大きく、歌心に満ちあふれ、聴く者の心を強く揺さぶる。

ザ・シンフォニーホールのこれまでのリサイタルでは、ロマン派の作品を中心にとりあげてきた横坂であるが、今回は以前とは趣を異にしたプログラムに挑む。プログラム前半は、まずベートーヴェン《チェロ・ソナタ 第4番》で、彼の後期の内面世界に迫る。そして、R.シュトラウスの初期のはつらつとした《チェロ・ソナタ》などが披露される。後半はオール・ピアソラ作品。《リベルタンゴ》や《ル・グラン・タンゴ》など、奔放で情熱的な音楽を聴かせてくれるだろう。日本を代表するトップアーティストの競演が待ち遠しい。

道下 京子



[チェロ] 横坂 源 Gen YOKOSAKA, Cello

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校(男女共学)を卒業後、ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。これまでに鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギアン・ケラスの各氏に師事。2002年全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少で第1位。2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。豊かな音楽性やイマジネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ハレル・タグプロット)など、各誌で絶賛されている。13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲共演を皮切りにソリストとしてデビュー、2019年/2020年には演奏活動20周年を迎え、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団(齋藤友香理指揮)との日本初演を行った。また日本フィルハーモニー交響楽団(山田和樹指揮)とは、M.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年2月、NHK交響楽団(尾高忠明指揮)とショスタ

コーヴィチのチェロ協奏曲、2022年1月には、東京都交響楽団(尾高忠明指揮)とエルガーのチェロ協奏曲を協演。録音では、2016年「J.S.バッハ:ガンパ・ソナタ集(ピアノ:藤井一興)」、2020年12月「シューマン&メンデルスゾーン(ピアノ:加藤洋之)」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤に選ばれた。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



[ピアノ] 萩原麻未 Mami HAGIWARA, Piano

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。広島県出身。第27回バルマドー国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。現在、日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどで演奏活動を行っている。これまでに、国内主要オーケストラのほか、スイス・ロマンド管、フランス国立ロワール管、南西ドイツ放送響などとも共演を重ねているほか、フランスのラ・ロック・ダンテロン等の様々な音楽祭にも招かれている。第13回ホテルオークラ音楽賞、広島市民賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、第46回東燃ゼネラル音楽賞(奨励賞)など多数受賞している。